

《パターンY》

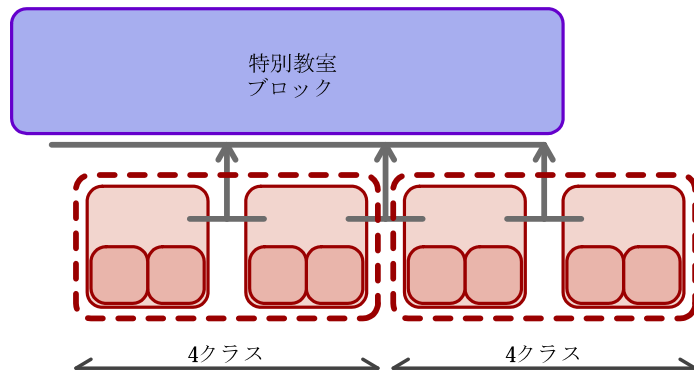
●ユニット構成

- ・2クラスの集合をユニットの最小単位とし、学年配置に対しフレキシビリティのあるユニバーサルな設えとする。
- ・各ユニット間にはプレゼンテーションコーナーとしても活用できる多目的なコンコース及び、学習室や更衣室として使用できる小教室を挟むことで空間を分節する。

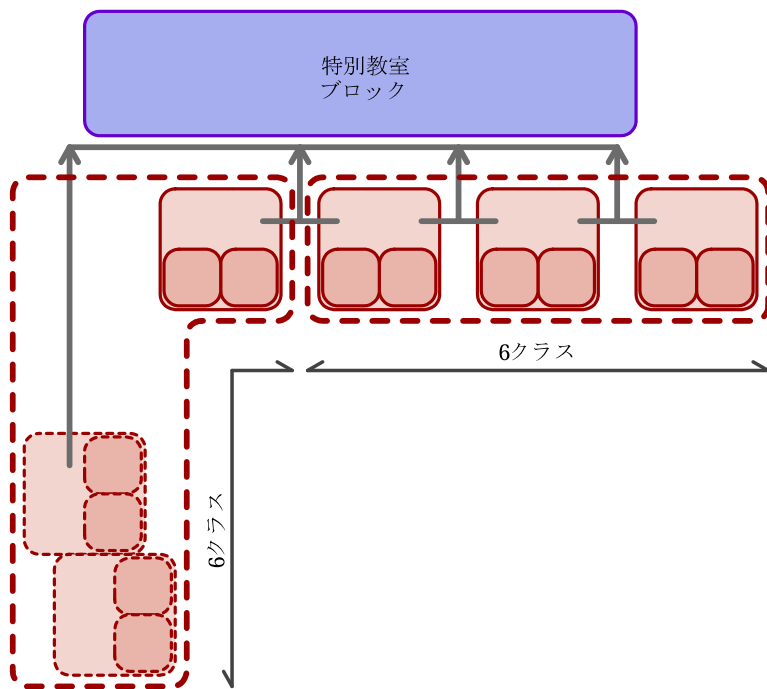
●ゾーニング・動線

- ・普通教室ブロック及び特別教室ブロックは、光庭を挟んで背中合わせに配置する。
- ・各ユニットからは、他ユニットの多目的スペースを通らず、コンコースからダイレクトに特別教室ブロックにアクセス可能とする。

増築前(4クラス/学年)



増築後(6クラス/学年)



《パターンX》

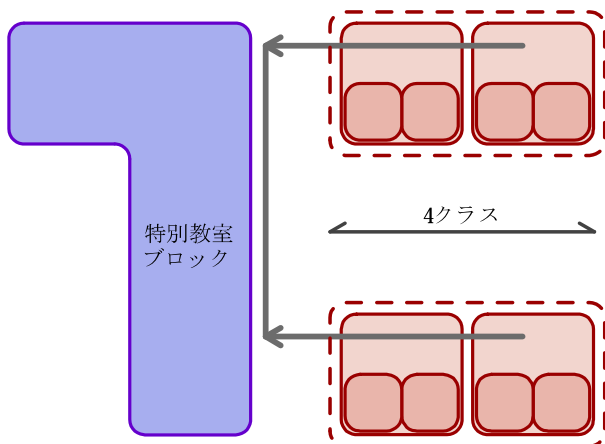
●ユニット構成

- ・学年のまとまりを意識した4クラスユニットの配置とする。(空間は2クラス単位で分節することが望ましい。)
- ・増築も学年最大6クラスでの活動が行いやすい連続した配置とし、学級数変動に対し、学年配置変更を行わずに済む構成とする。

●ゾーニング・動線

- ・正門からのアクセスの正面に開放施設でもある特別教室ブロックを配置し、そこから枝分かれ的に学年ユニットをぶら下げる配置構成。
- ・他学年の多目的スペースを通らずに、共用施設である特別教室ブロックにアクセスできるものとする。

増築前(4クラス/学年)



増築後(6クラス/学年)

